

# 高島和男

届けます。あなたの思いを県政に。 **県政広報誌**

「平成」が幕を開け早いもので30年の月日が流れました。皆様におかれましては節目の初春を健やかに迎えられたことと思います。

熊本地震から1年8ヶ月が経過しました。今もなお、応急仮設、みなし仮設、公営住宅等、約45,000人の方々が避難生活を余儀なくされています。現在、熊本県では創造的復興に向けた重点10項目を推進しています。

## 安心で希望に満ちた暮らしの創造 ～安心・希望を叶える～

### ① 「すまい」の再建

被災者の住まい、生活に関する意向調査を踏まえて被災者の状況に応じた「すまい」の再建を支援

**特徴：再建方法に応じたパッケージ支援 (8月30日公表)**

再建を望む全ての方

(H29.8月末時点) 約4.6万人

**自宅再建の場合**

【高齢世帯】 ※リバースモーゲージ制度 月々の負担

① 15,000円～

(土地・建物を担保に、返済は利子のみ)

【全ての世帯】 ※子育て世帯を優遇 月々の負担

② 20,000円～

(一定額まで利子負担ゼロ)

**賃貸住宅の場合**

※仲介手数料 礼金など

③ 住み替え 初期費用の助成

全ての世帯

④ 転居費用

自宅再建

くまもと型復興住宅 約1,300万円

賃貸住宅

公営住宅

### ② 災害廃棄物の処理

平成30年4月までに処理を完了

○災害廃棄物の処理目標：平成30年4月末(発災後2年間)で完了



- ◆公費解体の進捗状況 (H29.10月末時点) 進捗率 90.8%
- ◆災害廃棄物処理の進捗状況 (H29.9月末時点) 進捗率 88.6%

## 未来へつなぐ資産の創造 ～未来の礎を築く～

### ③ 阿蘇へのアクセスルート

国道57号線、阿蘇大橋ルート、俵山ルート、長陽大橋ルート J R豊肥線・南阿蘇鉄道…の回復

○国道57号/国道325号阿蘇大橋の早期復旧

国土交通省HPより

大規模な斜面崩壊により国道57号、国道325号及びJR豊肥本線が通行不能に。

現在

国道57号北側復旧ルート

平成32年(2020年)の開通に向け、復旧工事が進行中

現在

国道325号新阿蘇大橋

### ④ 熊本城の復旧

平成31年(2019年)国際スポーツ大会までに熊本城とともに復興シンボルとして天守閣を復旧

○北十八間櫓・五間櫓の復旧

現在

○天守閣の復旧

2つの国際スポーツ大会(ラグビーW杯、女子ハンド)が開催される2019年までの復旧を目指し、工事が本格化

### ⑤ 益城町の復興まちづくり

益城町から強い要望のあった熊本高森線の4車線化について平成31年度までにモデル地区を先行整備し、それ以降順次整備

※町役場周辺の土地区画整理事業も県主導で施行することが昨年11月定例会で決定しました。今後説明会等を通じて、町民の声に耳を傾けて進める予定です。

○復興計画の策定

益城町復興計画(土地利用構想図)

まちの中心軸 熊本高森線

H28.12月益城町は『復興計画』を策定 (最も人的・技術的支援を実施)

益城町と町議会は、復興計画で「まちの中心軸」に位置付けた熊本高森線の4車線化を県に要望

現況幅員 W=10.0m

計画幅員 W=27.0m

県道熊本高森線の4車線化計画

復興将来像『住み続けたいまち、次世代に継承したいまち』

# 次代を担う力強い地域産業の創造 ～地域の活力と雇用を再生する～

## ⑥ 被災企業の事業再建

- グループ補助金により被災した中小企業等の施設や設備の復旧・整備並びに商業機能の復旧促進を支援
- 産業支援機関（よろず支援拠点）の専門スタッフが震災後の中小企業、小規模事業者が抱える経営上の様々な悩みの相談に対応

### ○グループ補助金による支援

グループ補助金により、被災した中小企業等の施設や設備の復旧・整備、並びに商業機能の復旧促進を支援



### ○産業支援機関(よろず支援拠点)による支援

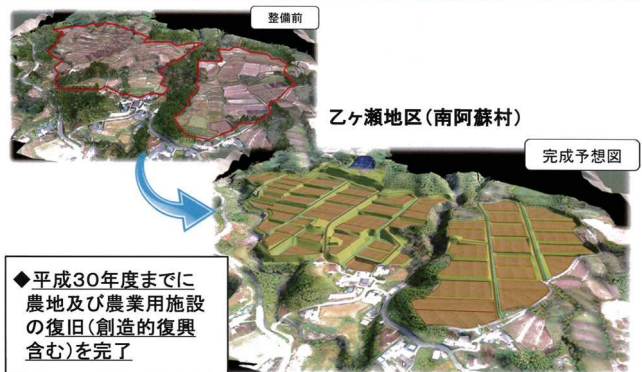
専門スタッフが震災後の中小企業・小規模事業者が抱える経営上の様々な悩みの相談に対応

	来訪件数	相談件数
平成28年度 (H28.4～H29.3)	4,699件	6,106件

## ⑦ 被災農家の営農再開

農地復旧を併せた大区画化や農地集積を進め平成30年度までに農業用施設を含めた復旧を完了予定

### ○農地復旧と併せた大区画化や農地集積(=創造的復興)



# 世界とつながる新たな熊本の創造 ～世界に挑み、世界を拓く～

## ⑧ 大空港構想 Next Stage の実行

阿蘇くまもと空港はコンセッション方式を導入し国内線、国際線が一体化となった新たなターミナルビルを整備

### ○コンセッション方式の導入による空港ビルの創造的復興



・H28.12月  
阿蘇くまもと空港について、コンセッション方式の導入による国内線・国際線ターミナルビルの一体的整備・耐震化を表明。  
⇒ 現在、国と実現に向けた調整を進めている。

## ⑨ 八代港のクルーズ拠点整備

クルーズ船専用岸壁等の整備により年間200隻程度の大型クルーズ船寄港を実現

### ○耐震強化岸壁及びクルーズ船専用岸壁の整備



◆年間200隻程度の寄港実現に向けた環境整備を国、県、船社で連携して実施(H29～H31の3年間)

## ⑩ 国際スポーツ大会の成功

平成31年開催の女子ハンドボール世界選手権大会、ラグビーワールドカップの成功を通して復興する熊本県を国内外に発信

### ○2019女子ハンドボール世界選手権大会

パードーム、アクアドーム等を会場に、平成31(2019)年11月30日～12月15日に開催



### ○ラグビーワールドカップ2019

会場: 県民総合運動公園陸上競技場



# 届けます！あなたの思いを県政に

## 高島和男事務所

ホームページでは、写真付日記を毎日更新！

▶▶▶ <http://takashima-kazuo.com/>

Facebookもやっています! .....

〒862-0962 熊本市南区田迎2-17-7

TEL.096-288-6004 / FAX.096-288-6009



その他目を転じると平成31年完成する桜町再開発、また平成33年開業の熊本駅ビル等熊本の大きな飛躍に繋がるであろう大型案件も着々と進行し、今年はそうした意味でも復旧・復興を進めつつ未来に向けた基礎を固める年だと思えます。そのために県議会議員としての役割は何か常に自問自答しながら活動して参ります。

結びに今年が皆様にとって幸多い一年になりますことを祈念し新年の県政報告と致します。

熊本県議会議員 高島 和男